

“完全復活!”なんなんフェスタ2023



上演の様子

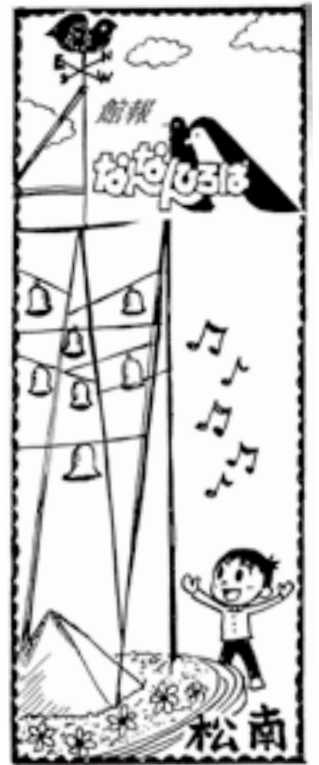


展示の様子

「かがやけ、はばたけ、松南の友」をテーマに公民館文化祭の先陣を切って、9月16日、17日両日なんなんフェスタが開催されました。

昨年コロナ感染予防のため縮小開催でしたが、松南の縮小開催でも通常通りの開催を目指して行こうと言ったものの、新型コロナウイルスという見えない強敵を相手に開催への不安感は無かったです。

しかし、過去三年間に渡りコロナ禍の影響を受けて中止



こども食堂炊出し

や縮小開催をせざるを得なかった心境に比べると「なんなんフェスタが勝っていました」という気持ちがありました。

乗れるミニSLでの子供さん方の嬉しそうな顔、こども食堂炊き出しカレーを美味しくに食べる家族連れ、賑やかに焼き付いています。

多くの方々にご来場いただき、参加された団体から「フェスタを開催出来て本当に良かった!」この言葉が地域への文化発信を目的とするなんなんフェスタの完全復活宣言といっても過言では無いと思います。

実行委員長 原雅敏

令和5年度第62回 松南地区夏季球技大会

9月10日、南部体育館、南部公園グラウンド、スカイパークで、ソフトバレー、卓球、軟式野球、マレットゴルフが行われました。出場者が少なく、町会対抗戦にはならず、参加者はゲームを楽しんでいました。



軟式野球

昭和36年、松南地区町会連合会が結成されました。その同じ年、町会連合会主催で、第1回球技大会が開催されました。以後毎年行われていま

昭と60年、松南地区体育協

松南地区夏季球技大会と名称を変更しました。

大会種目は、軟式野球、ソフトバレー、卓球、ゲートボール(今はない)、マレットゴルフです。

会場は、かつては、軟式野球は南松本球場、自衛隊グラウンド、ゴルフドックグラウンド、開明小学校。ソフトバレーは、自衛隊、開明小学校、教育センター。卓球は、芳野町公民館、三信製作所ホール。ゲートボールは、芳野町遊園地でした。



ソフトバレー

昭と62年、南部公園グラウンドが、平成2年、南部体育館が開場し、会場となりました。

少子高齢化、居住者の町会離れなどが進み、大会参加者の減少の歯止めがかからず、大会としての開催が困難な状況になっています。

(塩原保彦)

松南地区防災の取り組み

10月15日(日)と22日(日)に松南地区の2カ所の指定避難所で、それぞれの避難所の開設・運営訓練が実施されました。

指定避難所は災害の危険性があり避難した住民等や、災害等により家に戻れなくなった住民等を一時的に滞在させることを目的としたもので、松南地区には松南地区公民館と南部体育館、開明小学校体育館の2カ所があります。各避難所には災害時に円滑な避難所の開設・運営ができるよう、地域住民と施設管理者、市職員による避難所運営

委員会が組織されており、開設・運営のためのマニュアルが整備されています。

訓練では研修用DVDの視聴、各委員の役割の確認、防災倉庫の備蓄品の点検や、段ボールベッド、仮設トイレの組み立て、発電機など備品の動作確認を実施しました。災害はいつおこるかわかりません。地域の安心・安全のために、今後も災害時に備え、研修や訓練を重ねてまいります。

(松南地区地域づくりセンター長 金井 稔)

10/15 開明小学校避難所開設・運営訓練



10/8 双葉南町会防災訓練



松南地区のできごと

10/12 テームオレンジまつもと
宣言受領証贈呈式



▶物忘れのある方もない方も一緒に活動を行う取り組み~

9/29 星空映像祭



▶満天の星空のもと、映像祭

9/18 宮田中町会敬老会



▶歌と演奏を楽しみました

10/14 福祉ひろばまつり



▶秋晴れの中大勢の人で賑わいました

松南地区町会連合会 60周年記念事業予告

- 松南地区出川南遺跡から出土した水鳥埴輪をモチーフとした記念パッチを作成中です。
- 松南地区町会連合会60周年記念式典を令和6年2月25日(日)午後から開催予定です。
- 詳細は松本市公民館報(松南版)令和6年1月30日号でお知らせします。